

安全な取り扱い

薬物や関連用具の所持は刑事罰リスクがあります（密売罪も含む）。地域の法律を必ず確認してください。

薬物の組み合わせ

複数の薬物を同時に使用すると、さまざまな結果が生じます。

危険

アルコール — 低用量で吐き気・嘔吐、高用量で呼吸不全の可能性。
他の抑制薬（他のオピオイド・GHB・ヘロイン・ベンゾ） — 意識消失・呼吸困難・呼吸不全・死亡の可能性。
MAOI — TripSit：激しい副作用が報告されています。

注意

興奮薬（コカイン・アンフェタミン） — 覚醒効果がオピオイドの危険な鎮静・呼吸抑制を隠す可能性。

オピオイドの使用が特に危険な方：

耐性が低下している方（休止後・解毒後・出所後）
呼吸器疾患・慢性疾患がある方
睡眠時無呼吸症候群・肥満・不安・うつ病がある方

薬物検査・路上検査

違法薬物の影響下での運転は違法です。少なくとも24時間は運転を避けてください。

尿検査：最大3日

毛髪検査 最大90日

血液検査 最大3日

過剰摂取の認識と対応

意識を失っている・起こせない。
呼吸が非常に遅い・浅い・止まっている。
唇や指先が青くなっている。
喉からゴロゴロいう音（デスラトル）。

救急車を呼んでください（000）。
ナロキソンがあれば投与して、回復体位に置いてください。
助けが来るまで傍にいてください。

ナロキソン(Naloxone)について

オピオイド過剰摂取を逆転させる薬物です。オーストラリアでは薬局で処方箋なしで入手できます。オピオイドを使用する場合は必ず携帯してください。

詳細情報

この教育資料は薬物使用者とコ薬物使用者自身が作成しました実践的・証拠に基づく情報を提とコミュニティケアを支援する規制されていない市場では純度不可能です。自らを教育しリスク知識は力です。

ピアサポート参考ウェブサイト

オーストラリア:

dancewize.org.au
dancewizensw.org.au
hi-ground.org
prism.org.au
consciousnest.info

海外:

erowid.org
tripsit.me
dancesafe.org
tripproject.ca
pillreports.com



Opioids

オピオイド（麻薬性鎮痛薬）

通称名

ヘロイン（スマック・ビッグH）
コデイン・モルヒネ・オキシコドン・フェンタニル

化学名

天然・半合成・合成オピオイド類
μ（ミュー）オピオイド受容体に作用。
強力な鎮痛・多幸感・呼吸抑制効果。

セット（心と体）を知る
セッティング（環境）を知る
ハームリダクションを実践する
「知る」ことが力。

VEAEA

Victorian Endowment for the
Advancement of the Electronic Arts

日本語版 翻訳制作
veaea.org

Harm Reduction Victoria · DanceWize Victoria

原文著作権は各製薬団体に帰属します。

概要 (DESCRIPTION)

オピオイドはオピオイド受容体に作用する薬物の総称です。医療目的では強力な鎮痛薬として使用されます。

代表的なオピオイド：

- ・コデイン ie. パナデイン
- ・ヌロフェンプラス
- ・ジヒドロコデイン ie. パラモール
- ・トラマドール
- ・オキシコドン ie. エンドン、パーコセット
- ・モルヒネ硫酸塩 ie. MSコンチン
- ・メサドン ie. バイオドン
- ・ブプレノルフィン ie. サボキソン
- ・フェンタニル ie. デューロジェシック（貼付剤）

ストリートで入手するオピオイドにはフェンタニルなどの非常に強力な合成オピオイドが混入されている可能性があります。

投与方法と持続時間

経口・鼻腔吸引・静脈内注射
・喫煙・直腸投与
即効型（ヘロイン・フェンタニル）：数分～1時間

効力比較 (モルヒネ基準)

コデイン	0.1倍	2～4h
トラマドール	0.1～0.2倍	5～7h
モルヒネ	1倍 (基準)	2～4h
オキシコドン	1.5倍	3～5h
ヒドロモルフォン	5倍	2～3h
フェンタニル	100倍 ☒	1～4h
メサドン	3～8倍	24～36h
ブプレノルフィン	部分作動薬	24～72h

☒ フェンタニルはモルヒネの約100倍の効力。ストリートのオピオイドへの混入に注意。

効果の時間推移



効果 (EFFECTS)

LESS COMMON RARE

= 「セット」（心と体）+ 「セッティング」（環境）+ 薬物

身体的効果

- 強力な鎮痛作用
- 多幸感・温かみ
- 眠気・うとうと感
- 呼吸の抑制
- 心拍数の低下
- 血圧の低下
- 吐き気・嘔吐
- 便秘
- 口の渇き
- 瞳孔収縮（ピンポイント瞳孔）
- かゆみ
- 意識消失 ◆
- 呼吸停止 ◆

感情的効果

- 深い安心感・リラクゼーション
- 痛み・不安の消失
- 幸福感
- 気分の変動 *
- うつ（離脱時）*

心理的効果

- 思考の鈍化
- 夢想状態
- 時間感覚の変化
- 判断力の低下
- 次の使用を求める強迫観念（長期使用時）

長期的影響

身体的依存と強い心理的依存が生じます。離脱症状はインフルエンザに似た症状（痛み・下痢・嘔吐・不眠）が含まれます。オピオイド代替療法（メサドン・ブプレノルフィン）は依存からの回復を支援します。

* = 一般的でない ◆ = まれ

安全な使用法 (SAFER USING)

- 一人での使用を絶対に避けること。
- まず少量から試し、特に新しいバッチや休止後の使用時は。
- ナロキソンを常に携帯し、使い方を知っておくこと。
- 複数の抑制薬を組み合わせないこと（特にアルコール・ベンゾ）。
- 薬物チェックサービスを利用してフェンタニルなどの混入を確認すること。
- 「スタートロー、ゴースロー」 — 常に少量から始め、ゆっくり増やすこと。

注射の場合

- 新品の滅菌器具のみ使用すること（NSPで無料）。
- 器具を絶対に共有しないこと。
- 注射部位をローテーションすること。

直腸投与 (シールビング) の場合

- 潤滑剤を使用して皮膚の裂傷を避けること。
- 使用前後に手をよく洗うこと。

VEAEA

Victorian Endowment for the
Advancement of the Electronic Arts